



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月13日

上場会社名 スタイライフ株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 3037 URL <http://www.stylife.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 眞二  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 中 研悟 (TEL) 03 (5785) 7001  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト、機関投資家向け）

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）（百万円未満切捨て）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	2,017	21.9	△52	-	△55	-	△37	-
22年3月期第1四半期	1,654	4.1	△81	-	△74	-	△87	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	△1,895	34	-	-
22年3月期第1四半期	△4,412	03	-	-

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
23年3月期第1四半期	4,718		2,286		48.5		114,847 65	
22年3月期	4,902		2,355		48.0		118,315 83	

（参考）自己資本 23年3月期第1四半期 2,286百万円 22年3月期 2,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
22年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	-	1,250 00	-	1,250 00	2,500 00
23年3月期（予想）	-	-	-	-	1,000 00 ～2,500 00

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

※平成23年3月期の配当予想につきましては、業績予想の進捗及び経営環境等を総合的に勘案し、第2四半期末と期末の配当額を決定させていただきたく、現時点では年間配当予想のみとさせていただきます。

なお、平成23年3月期の連結配当性向は、66.4%から165.9%を予想しております。

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	4,300	30.8	△40	-	△50	-	△40	-	△2,009	34
通期	9,200	20.0	100	-	80	-	30 △86.1		1,507	01

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 5「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期 1 Q	20,407株	22年3月期	20,407株
23年3月期 1 Q	500株	22年3月期	500株
23年3月期 1 Q	19,907株	22年3月期 1 Q	19,907株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。なお四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)におけるわが国経済は、景気刺激策等により一部に景気回復の兆しが見られましたが、欧州の財政問題に端を発した金融不安、株安、円高傾向などの不安材料から先行き不透明感を払拭できず、雇用情勢、個人消費など依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような経済環境の中、中長期的な成長に向け、より多くのお客様にご支持いただけるよう諸施策の検討、実施を進めております。特にファッションコマース事業では、ポイント制度の見直しを行い新ポイント制度に移行するなどサービスの拡充を進めました。さらに、ファッション通販雑誌『大人Look!s』の発行回数を年2回から年4回に増刊し、また、ファッション通販雑誌『Look!s』の中国市場での展開を目指し、中国の人気ファッション誌「昕薇(中国版ViVi)」のBook in Book通販企画として、『Look!s』のダイジェスト版を試験的に実施するなど、新たな収益機会の拡大に取り組みました。また、ファッションECサイト『Stylife』が開設10周年を迎え、10周年記念キャンペーンとして、人気ブランドとのコラボレート商品の提供などを行いました。さらに、ネット上でチャリティフリーマーケットを開催するなど、ホワイトリボン運動(開発途上国の妊産婦を中心に女性の命と健康を守る国際的なネットワーク)の支援にも取り組みました。

当第1四半期連結会計期間の業績につきましては、ファッションコマース事業において、ファッション通販雑誌『大人Look!s』を本年5月に新たに発行(当連結会計年度より5月、8月、10月、2月の年4回発行、従来は10月と2月の年2回)し、収益機会を拡大したこと、さらに昨年9月1日にKDDI株式会社及び沖縄セルラー電話株式会社と共同で設立したファッションECサイト『au one Brand Garden』が期初より業績に寄与いたしました。

また、コスメ事業においても前連結会計年度より注力しているプロモーション強化により、新規顧客の獲得が順調に進みました。

以上の結果、売上高20億17百万円(前年同期比21.9%増)、営業損失52百万円(前年同期は81百万円の損失、29百万円の改善)、経常損失55百万円(前年同期は74百万円の損失、19百万円の改善)、四半期純損失37百万円(前年同期は87百万円の損失、50百万円の改善)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### [ファッションコマース事業]

ファッションコマース事業は、ファッション通販雑誌『Look!s』『大人Look!s』、ファッションECサイト『Stylife』(<http://www.stylife.co.jp/>)、『nuan<sup>+</sup>』(<http://www.nuan.gr.jp/>)、『OUTLET CHU:SE』(<http://chuse.jp/>)、モバイルECサイト『スタイライフ☆Look!s』の自社メディア及びKDDI株式会社、沖縄セルラー電話株式会社との共同サイト『au one Brand Garden』等によるファッション関連アイテムの通信販売が主なものであります。

当第1四半期連結会計期間のファッションコマース事業につきましては、『大人Look!s』を本年5月に新規発行や、『au one Brand Garden』の業績寄与などにより、売上規模を拡大いたしました。

利益面では雑誌の発行増による製造原価の増加に加え、セール販売等による影響から粗利率が前年同期に比べ低下したこと、さらに、『au one Brand Garden』の運営等に伴うシステムに対する減価償却費が前年同期に比べ増加いたしました。売上規模の拡大により、前年同期に比べ改善いたしました。

以上の結果、売上高15億72百万円(前年同期比30.8%増)、営業損失48百万円(前年同期は80百万円の損失、32百万円の改善)となりました。

#### [コスメ事業]

コスメ事業は、(株)ハイマックスにおける化粧品販売等が主なものであります。

当第1四半期連結会計期間につきましては、テレビCM、新聞折込広告、同梱広告などプロモーションを継続強化しており、新規顧客の獲得が進み、売上は前年同期に比べ増収となりました。

利益面においても、順調に改善いたしました。

以上の結果、売上高2億50百万円(前年同期比13.0%増)、営業損失7百万円(前年同期は23百万円の損失、16百万円の改善)となりました。

〔生活雑貨事業〕

生活雑貨事業は、ノーマディック(株)におけるバッグを中心とする生活雑貨の卸売が主なものであります。

当第1四半期連結会計期間につきましては、個人消費の低迷による影響を受け、既存卸先への売上が伸び悩みましたが、新規取引先の開拓やノーマディックオフィシャルECサイト (<http://www.ec-nomadic.com/>) をはじめとするEC事業の売上拡大に向け注力いたしました結果、概ね計画どおり推移いたしました。

以上の結果、売上高1億89百万円(前年同期比12.6%減)、営業利益4百万円(前年同期比78.4%減)となりました。

〔その他事業〕

その他事業は、他社の通信販売業務をサポートするフルフィルメント事業などが主なものであります。

当第1四半期連結会計期間のその他事業の業績につきましては、フルフィルメント事業の受託が減少いたしました。

以上の結果、売上高5百万円(前年同期比60.5%減)、営業損失1百万円(前年同期は573千円の利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ187,118千円減少となりました。この主な要因は、現金及び預金が226,797千円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ3,508千円増加となりました。この主な要因は、有形固定資産が7,301千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ183,610千円減少し、4,718,808千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ79,998千円減少となりました。この主な要因は、短期借入金が100,000千円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ34,571千円減少となりました。この主な要因は、長期借入金が34,453千円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ114,569千円減少し、2,432,536千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ69,041千円減少となりました。この主な要因は、四半期純損失37,730千円を計上し、24,883千円の配当を行ったこと等によるものであります。

この結果、純資産合計は、2,286,272千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」)は、前連結会計年度末残高より226,797千円減少し、548,203千円(前年同四半期末残高は773,839千円)となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、29,596千円の資金の減少(前年同四半期は83,916千円の資金の減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失56,193千円、未収入金の減少54,186千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、31,823千円の資金の減少(前年同四半期は40,748千円の資金の減少)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出19,940千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、165,679千円の資金の減少(前年同四半期は246,301千円の資金の増加)となりました。これは主に、短期借入金の純増減額100,000千円の減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間につきましては、『大人Look!s』の5月発行、『au one Brand Garden』などの新たな収益機会を創出、ポイント制度の見直しによるサービスの拡充やプロモーションの継続強化による新規顧客会員の獲得、前年同期に比べ売上増収、利益改善が進みました。

当第2四半期以降につきましては、ファッションコマース事業において、顧客会員数100万人突破キャンペーンの展開、より幅広い女性のお客様に対応したファッションテイストの商品の拡充、送料見直し等によるサービスの拡充など、お客様の“欲しい”にお応えし、新規顧客会員の獲得促進、既存顧客会員のリピート・アクティブ率の向上を図ってまいります。

コスメ事業につきましては、テレビCM等に女優の紺野美沙子さんを起用するなどプロモーションを継続強化し、新規顧客の開拓を促進するとともに、リピート率の向上を図ってまいります。

生活雑貨事業につきましては、新規取引先の開拓を継続して強化するとともに、新規商品の企画開発力の強化、EC事業の規模拡大に取り組んでまいります。

以上、主要3事業において諸施策を着実に実施し、業績の向上を図ってまいります。

平成22年5月14日に公表いたしました平成23年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末の算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	557,266	784,064
受取手形及び売掛金	935,007	975,323
商品及び製品	756,479	630,009
仕掛品	23,061	19,192
原材料及び貯蔵品	32,362	30,185
その他	253,069	305,415
貸倒引当金	△1,937	△1,764
流動資産合計	2,555,309	2,742,427
固定資産		
有形固定資産	221,077	213,775
無形固定資産		
のれん	387,672	394,120
その他	463,203	466,270
無形固定資産合計	850,875	860,391
投資その他の資産		
投資有価証券	807,560	818,597
その他	284,515	267,763
貸倒引当金	△528	△535
投資その他の資産合計	1,091,546	1,085,824
固定資産合計	2,163,499	2,159,991
資産合計	4,718,808	4,902,419
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	668,763	674,172
未払金	189,849	169,154
短期借入金	850,000	950,000
1年内返済予定の長期借入金	137,812	137,812
未払法人税等	8,311	9,275
賞与引当金	28,731	30,864
返品調整引当金	44,685	35,089
販売促進引当金	21,214	20,854
その他	98,896	101,040
流動負債合計	2,048,264	2,128,262
固定負債		
長期借入金	257,737	292,190
退職給付引当金	30,609	31,726
役員退職慰労引当金	—	17,333
その他	95,924	77,593
固定負債合計	384,271	418,843
負債合計	2,432,536	2,547,105

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,456,775	1,456,775
資本剰余金	700,455	700,455
利益剰余金	187,978	250,592
自己株式	△56,968	△56,968
株主資本合計	2,288,240	2,350,855
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,968	4,457
評価・換算差額等合計	△1,968	4,457
純資産合計	2,286,272	2,355,313
負債純資産合計	4,718,808	4,902,419



(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,654,946	2,017,664
売上原価	959,141	1,235,652
売上総利益	695,805	782,011
返品調整引当金戻入額	27,220	35,089
返品調整引当金繰入額	19,390	44,685
差引売上総利益	703,635	772,416
販売費及び一般管理費	785,489	824,554
営業損失(△)	△81,854	△52,138
営業外収益		
受取利息	1,598	62
持分法による投資利益	219	—
為替差益	—	489
保険解約返戻金	6,603	—
その他	4,425	788
営業外収益合計	12,846	1,340
営業外費用		
支払利息	4,415	4,502
株式交付費償却	508	—
持分法による投資損失	—	198
その他	659	25
営業外費用合計	5,583	4,726
経常損失(△)	△74,590	△55,524
特別利益		
貸倒引当金戻入額	12,527	—
特別利益合計	12,527	—
特別損失		
投資有価証券売却損	442	—
物流拠点移転費用	11,314	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	668
特別損失合計	11,757	668
税金等調整前四半期純損失(△)	△73,820	△56,193
法人税、住民税及び事業税	11,101	6,528
法人税等調整額	2,908	△24,991
法人税等合計	14,009	△18,463
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△37,730
四半期純損失(△)	△87,830	△37,730

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△73,820	△56,193
減価償却費	25,877	36,294
のれん償却額	6,448	6,448
株式交付費償却	508	—
持分法による投資損益(△は益)	△219	198
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12,615	166
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△680	△1,116
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	774	△17,333
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,280	△2,132
販売促進引当金の増減額	1,279	360
返品調整引当金繰入額	19,390	44,685
受取利息及び受取配当金	△1,598	△62
支払利息	4,415	4,502
為替差損益(△は益)	△156	△302
長期前払費用の増減額(△は増加)	1,483	△3,577
固定資産除却損	3,349	—
投資有価証券売却損益(△は益)	442	—
売上債権の増減額(△は増加)	93,985	5,226
たな卸資産の増減額(△は増加)	△19,805	△132,515
破産更生債権等の増減額(△は増加)	142,951	7
未収入金の増減額(△は増加)	137,933	54,186
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△6,048	13,760
仕入債務の増減額(△は減少)	△148,501	△5,408
未払金の増減額(△は減少)	△151,062	27,472
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,378	△15,152
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△5,504	8,597
その他	△34,398	12,421
小計	△23,229	△19,469
利息及び配当金の受取額	120	62
利息の支払額	△4,463	△4,529
法人税等の支払額	△56,342	△5,659
営業活動によるキャッシュ・フロー	△83,916	△29,596
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△15,245	△11,818
無形固定資産の取得による支出	△54,640	△19,940
投資有価証券の売却による収入	12,312	—
敷金及び保証金の差入による支出	△466	△64
その他	17,291	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,748	△31,823

(単位：千円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4月 1日 至 平成21年 6月30日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	△100,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△28,333	△34,453
配当金の支払額	△21,699	△24,883
リース債務の返済による支出	△3,665	△6,343
財務活動によるキャッシュ・フロー	246,301	△165,679
現金及び現金同等物に係る換算差額	156	302
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	121,793	△226,797
現金及び現金同等物の期首残高	652,046	775,001
現金及び現金同等物の四半期末残高	773,839	548,203

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	ファッション コマース 事業 (千円)	コスメ事業 (千円)	生活雑貨事 業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
<b>I 売上高</b>							
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,202,731	221,423	216,325	14,465	1,654,946	—	1,654,946
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	395	—	1,210	1,605	(1,605)	—
計	1,202,731	221,819	216,325	15,675	1,656,552	(1,605)	1,654,946
営業利益又は損失(△)	△80,878	△23,563	22,014	573	△81,854	—	△81,854

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

ファッションコマース事業

通販雑誌「Look!s」「大人Look!s」等、インターネットショッピングサイト「Stylife」「nuan+」「OUTLET CHU:SE」等、及びモバイルショッピングサイト「Stylife☆Look!s」等による衣料品を中心としたファッション関連商品の販売事業。

コスメ事業

コスメ商品の企画・製造・販売事業。

生活雑貨事業

バッグを中心とした生活雑貨の企画・製造・販売事業。

その他事業

通信販売支援事業等。

3 「消去又は全社」では、セグメント間の内部取引に関して、相殺消去を行なっております。

[セグメント情報]

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報は入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、取り扱う製品・サービスについての包括的な戦略を立案し、事業活動に展開しております。

したがって、当社は、事業活動を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「ファッションコマース事業」「コスメ事業」「生活雑貨事業」の3つを報告セグメントとしております。

「ファッションコマース事業」は通販雑誌「Look!s」「大人Look!s」等、インターネットショッピングサイト「Stylife」「nuan+」「OUTLET CHU:SE」等、及びモバイルショッピングサイト「スタイライフ☆Look!s」「au one Brand Garden」による衣料品を中心としたファッション関連商品の販売事業を行っております。

「コスメ事業」は、主に㈱ハイマックスにおいてコスメ商品の企画・製造・販売事業を行っております。

「生活雑貨事業」は、主にノーマディック㈱においてバッグを中心とした生活雑貨の企画・製造・販売事業を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第1四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ファッション コマ ース事業	コス メ事 業	生活 雑 貨 事 業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	1,572,758	250,157	189,036	2,011,952	5,712	2,017,664	—	2,017,664
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	57	—	57	—	57	(57)	—
計	1,572,758	250,215	189,036	2,012,009	5,712	2,017,722	(57)	2,017,664
セグメント利益又は損失(△)	△48,391	△7,408	4,762	△51,038	△1,099	△52,138	—	△52,138

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通販支援事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。